



2019年 3月期

決算説明会

2019年5月13日

本日の内容

- ◆ 2019年3月期 連結業績結果
- ◆ 2020年3月期 連結業績予想
- ◆ 2020年3月期 重点取組み

日頃は皆様から、多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2019年3月期連結業績結果					
(億円、%)					
■ 経営成績 ■	2018年3月期	2019年3月期	増 減 額	前 期 比	予 想 比
売上高	5,961	6,033	+72	101.2	100.4
営業利益	193	172	△21	89.0	98.5
経常利益	209	190	△19	90.6	100.1
純利益*	133	107	△26	80.3	102.4

*親会社株主に帰属する当期純利益
(予想は2019年2月7日決算短信発表時に公表したもの)

■ 配 当 ■

普通配当	40円	連結配当性向	25.2%
------	-----	--------	-------

 雪印メグミルク Copyright © Meiji Milk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

【2019年3月期連結業績結果】

まず、2019年3月期、連結業績結果は、增收減益になりました。
配当は1株当たり40円といたします。

2019年3月期連結業績結果～総括～					
取組結果					
<ul style="list-style-type: none"> ●家庭用チーズの価格改定の実施 ●機能性ヨーグルトと機能性食品の販売拡大 ●成長に向けた設備投資の実施 					
課題					
<ul style="list-style-type: none"> ●コストアップへの対応 原料乳価格の引上げ、物流コストなど 					

 雪印メグミルク Copyright © Meiji Milk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

【2019年3月期 総括】

2019年3月期は、チーズの価格改定や機能性ヨーグルトの販売拡大などに努めました。

また、成長に向けた設備投資を実施し、中期経営計画に沿った取り組みを実施しました。

一方、原料乳価格や物流費などのオペレーションコストの増加など、コストアップへの対応が課題となりました。

2020年3月期 取組み施策

環境変化への対応

- 市乳商品の価格改定の実施

事業ポートフォリオの変革

- 重点カテゴリーへの取組み強化による販売拡大
- 海外事業の拡大
- ニュートリション事業の拡大
- 生産体制の再構築

 雪印メグミルク Copyright © Meiji Milk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

4

【2020年3月期 重点取組み】

2020年3月期の取り組みについて説明いたします。

まず、足元のコストアップを中心とした環境変化への対応として本年4月、市乳商品の価格改定を実施しました。

また、今期の収益改善および中長期的な利益成長の柱として、チーズ、ヨーグルトをはじめとする重点カテゴリーの販売拡大など、事業ポートフォリオの変革に取り組みます。

2020年3月期 連結業績予想

(億円、%)

■ 経営成績 ■	2019年3月期	2020年3月期	増減額	前期比
売上高	6,033	6,150	+116	101.9
営業利益	172	180	+7	104.5
経常利益	190	195	+4	102.6
純利益※	107	120	+12	111.6

※親会社株主に帰属する当期純利益

■ 配当 ■

普通配当	40円	連結配当性向	22.6%
------	-----	--------	-------

 雪印メグミルク Copyright © Meiji Milk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

5

【2020年3月期連結業績予想（通期）】

2020年3月期通期の連結業績予想については、売上高6,150億円、営業利益180億円、経常利益195億円、親会社株主に帰属する当期純利益120億円を見込みました。配当は、1株当たり40円を予定しています。

2020年3月期は、中期経営計画の最終年度となります。環境変化などの影響で、当初計画からみると営業利益は下回りますが、価格改定の実施や、チーズ、ヨーグルトの販売拡大などにより今期は、前期比104.5%、7億円の増益予想としました。

これらの取り組みを着実に実行し、「長期ビジョン2026」達成につなげてまいります。

2020年3月期の事業別取組み



1. 乳製品事業分野

バター、油脂、チーズ（国内・海外）



2. 市乳事業分野

牛乳・乳飲料、ヨーグルト、果汁・野菜・清涼飲料、デザート



3. ニュートリション事業分野

粉ミルク（国内・海外）、機能性食品など



4. 飼料・種苗事業分野

飼料、種子（牧草・飼料作物・野菜）、造園など

Copyright © Meijirk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

6

事業別取組み～2020年3月期業績予想（乳製品）～



2020年3月期 通期業績予想

【乳製品セグメント】ニュートリション事業を含む

(億円、%)

	2019年3月期	2020年3月期	増減額	前期比
売上高	2,410	2,509	+99	104.1
営業利益	117	121	+4	102.9

▶ 家庭用チーズの主力商品の販売拡大

▶ チーズのボーダレス展開の推進

Copyright © Meijirk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

7

【乳製品事業分野（業績予想）】

乳製品事業分野を中心とする乳製品セグメントは、
增收増益を見込んでいます。

家庭用チーズにおける主力商品の販売拡大やチーズのボーダレス展開を
進めます。



【乳製品事業分野（2019上期 チーズ）】

家庭用チーズにおいては、6P、カマンベール、さけるチーズなど、主力商品の販売拡大を図ります。

また、価格改定の影響を受けたスライスチーズ、ベビーチーズなどは、キャンペーンや新商品の導入により販売強化に取り組みます。



【乳製品事業分野（チーズ）②】

チーズ市場全体は、家飲み需要や健康効果への注目などにより着実に伸びています。

当社もチーズを重点カテゴリーとして、プロモーション展開などにより、さらなる成長を目指します。

事業別取組み ~2020年3月期の取組み（チーズ）~

事業別取組み
～2020年3月期の取組み（チーズ）～

▶ チーズのボーダレス展開の推進

雪印メグミルクインドネシア社
(MSBI) と
アダーデライツオーストラリア社
(UDA) の連結子会社化

雪印メグミルクインドネシア社
による第3国輸出

雪印メグミルク
Copyright © Magrith Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

10

事業別取組み ~2020年3月期業績予想（市乳）~

事業別取組み
～2020年3月期業績予想（市乳）～

2020年3月期 通期業績予想
【飲料・デザート類セグメント】

	2019年3月期	2020年3月期	増減額	前期比
売上高	2,797	2,809	+12	100.4
営業利益	31	39	+8	123.1

(億円、%)

▶ 價格改定の実施
▶ ヨーグルト：ガセリ菌S P株ヨーグルト商品群の販売拡大
▶ デザート：個食デザートの強化

雪印メグミルク
Copyright © Magrith Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

11

【中期経営計画 チーズのボーダレス】

チーズ事業のボーダレス展開については、今期は、雪印メグミルクインドネシアとアダーデライツオーストラリアの2法人を連結化し、将来の利益成長に向けて、取り組みを進めていきます。

また、雪印メグミルクインドネシアから、シンガポールやタイ、マレーシアへのチーズの輸出を拡大していきます。

【市乳事業分野（2020年3月期 業績予想）】

市乳事業分野についてです。

市乳事業に該当する飲料・デザート類セグメントにつきましては、增收増益を見込んでいます。
価格改定の実施や、ガセリ菌S P株ヨーグルト商品群の販売拡大に取り組みます。

事業別取組み～2020年3月期の取組み（市乳）～



▶ 価格改定の実施



<対象商品>

市販用：牛乳類、乳飲料、ヨーグルト、デザート …… 64品
宅配用：牛乳類、乳飲料 …… 15品

<改定内容>

市販用：メーカー希望小売価格 …… (改定率：2.2～6.1%)
宅配用：メーカー出荷価格 …… (改定率：1.7～4.0%)

Copyright © Meiji Milk Group Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

12

事業別取組み～2020年3月期の取組み（市乳）～



▶ ガセリ菌SP株ヨーグルト商品群の販売拡大

新商品の投入とターゲットを意識した
新しいコミュニケーション売場の運動



香川真之さんを起用

▶ 個食デザートの強化

商品力の強化



Copyright © Meiji Milk Group Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

13

【市乳事業分野（2019年上期 価格改定）】

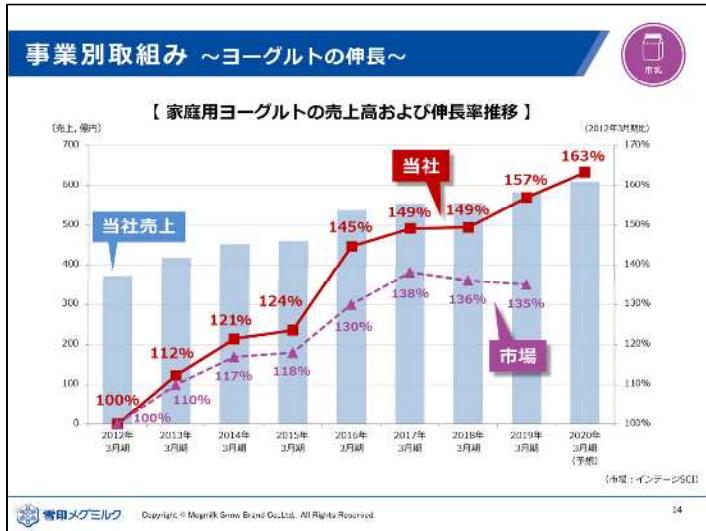
価格改定の実施については、原料乳価格の引き上げに加え、
物流コストや労務費なども上昇しており、
企業努力による吸収の範囲を超えることから、
4月1日出荷分より、合計79品で、価格改定を実施させていただきました。

【市乳事業分野（2019年上期 ヨーグルト）】

ガセリ菌S P株ヨーグルト商品群についてです。

シリーズのさらなる拡大を目指して、甘くないプレーンタイプの個食、「生乳仕立てプレーン」を3月に新発売いたしました。
そして、新しいテレビCMを4月から放映し、販売をさらに伸ばしていきます。

また、デザートについては、昨年ルナ物産に増強した生産ラインを活用するとともに、個食デザートの商品力を強化していきます。



14



15

【市乳事業分野（ヨーグルト）③】

ヨーグルト市場全体の伸びは、横ばい傾向にありますが、当社は、ガセリ菌SP株ヨーグルト商品群の効果により機能性ヨーグルトを中心に市場を上回る伸びを示しています。今後も利益の柱であるヨーグルトの販売拡大に努めています。

【市乳事業分野（2019年上期 ヨーグルト）】

生産体制の再構築については、名古屋工場を豊橋工場へ統合し、より効率的な生産体制を構築していきます。市乳事業の収益改善に向け、着実に取り組んでいきます。

事業別取組み ~2020年3月期業績予想(ニュートリション)~

2020年3月期 通期業績予想

【ニュートリション事業分野】

	2019年3月期	2020年3月期	増減額	前期比
売上高 (内訳)	194	201	+7	103.3
機能性食品	47	53	+6	111.0
粉ミルク等	146	148	+2	100.8

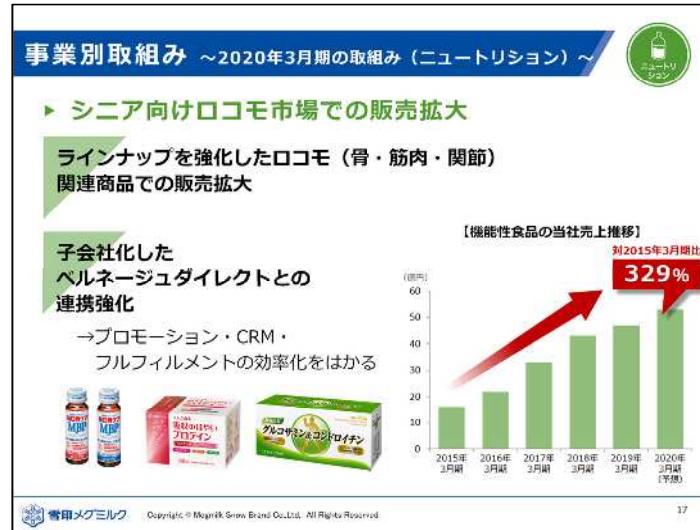
▶ 機能性食品：シニア向けロコモ*市場での販売拡大と利益貢献
▶ 粉ミルク等：母乳研究を活かした商品力強化

※「ロコモティブションドローム」(略称：ロコモ)：運動器の障害により、歩行や日常生活に支障のある状態。

雪印メグミルク Copyright © Meiji Milk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.



16



17

【ニュートリション事業分野(2020年3月期業績予想)】

ニュートリション事業分野についてです。
乳製品セグメントのうち、ニュートリション事業分野の売上高は、
増収を見込んでいます。

機能性食品で前期比111%、粉ミルクなどで前期比100.8%を見込みました。

【ニュートリション事業分野(2019年取組)】

機能性食品については、シニア向けの「ロコモ」市場が
拡大してきており、毎日骨ケアM B Pをはじめとした、
商品ラインナップで販売を拡大していきます。

昨年、子会社化した通販会社のベルネージュダイレクトとの連携を
強化し、機能性食品のさらなる販売拡大を目指します。

事業別取組み～2020年3月期業績予想（飼料・種苗）～

2020年3月期 通期業績予想
【飼料・種苗セグメント】

(億円、%)

	2019年3月期	2020年3月期	増減額	前期比
売上高	460	452	△8	98.2
営業利益	11	9	△2	77.3

▶ 飼料事業：総合提案型営業と効率化による収益力強化
▶ 種苗事業：自社開発商品による販売拡大

雪印メグミルク Copyright © Meiji Milk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

【飼料・種苗事業分野（2020年3月期業績予想）】

飼料・種苗事業分野の業績予想は、減収減益を見込んでいます。
飼料事業での、効率化による収益力強化や
種苗事業での、自社開発商品による販売拡大などに取り組みます。



【飼料・種苗事業分野（2019年上期 取組み）】

飼料分野では、ホクレンくみあい飼料株式会社様と雪印種苗株式会社の合併会社を設立し、新工場建設などの取り組みを含め、高品質で低コストの飼料生産を目指します。

持続的成長に向けた取組み

CSR領域	CSR重要課題 (マテリアリティ)	対象SDGs
食と健康	乳（ミルク）による食と健康への貢献	
酪農	持続可能な酪農への貢献	
環境	環境負荷の低減	
人と社会	多様な人材が活躍できる職場の実現	
	地域社会への貢献	

雪印メグミルク Copyright © Megamilk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

20

【持続的成長】

雪印メグミルクグループの持続的な成長に向けた取り組みについてです。当社グループでは、2018年に新たなCSR方針を策定し、CSR重要課題 「マテリアリティ」を定めました。

今期では、KPIを設定し、取り組みを加速させていきます。ミルクによる食と健康への貢献、持続可能な酪農などの課題に、引き続き取り組みます。

長期ビジョンに向けて

位置付け	中期経営計画		
	第1ステージ 2017～2019	第2ステージ 2020～2022	第3ステージ 2023～2026
Transformation (変革) の始動 グループ経営の 始動・推進	Transformation (変革) の始動 グループ経営の 始動・推進	Transformation (変革) の加速 グループ経営の 展開強化	Renewal (進化) へ グループ経営の 加速・進化
役割	<ul style="list-style-type: none"> ・収益基盤の複数化 キャッシュフローの最大化 ・生産体制進化への着手 	<ul style="list-style-type: none"> ・収益基盤の確立 ・4事業分野による 収益の安定的創出 ・生産体制進化の 本格始動 	<ul style="list-style-type: none"> ・調達・生産体制の 確立

雪印メグミルク Copyright © Megamilk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

21

【グループ長期ビジョン2026（ロードマップ）】

事業ポートフォリオの変革、事業成長を支える生産体制の進化、グループ経営の推進など引き続き、長期ビジョンの達成に向けて取り組んでまいります。

未来は、ミルクの中にある。



本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、本資料の予想数値と異なる場合があります。